



お土産リクエスト

3連休は、千歳や函館で講演依頼があったため、久しぶりに北海道に帰省していました。

その出張を知ったクラスの子たちは、お土産リクエスト選手権大会をスタート。

「ジャガイモ！」

「牛乳！」

「蟹！」

となぜか素材をリクエストする子たちがいれば、

「空気！」

「雪！」

「土！」

などの自然を依頼する子たち。さらには

「お土産話がいいなあ」

という健気な意見があれば

「先生が元気に帰ってくるのが一番のお土産だよ」

という泣かせるものもありました。

現在、社会科で「県名」「位置」「県庁所在地」などを学んでいることをお伝えしてきましたが、「各県の有名なもの」も非常に大切な内容です。

「お土産のリクエスト」というものを通して、子どもたちが北海道に対して持っているイメージや知識が浮かんでくるのが面白いなあと聞いていたところでした。

もちろん、お土産話はたくさんまた伝えていこうと思いますが、あまりに

その選手権大会が面白かったので、今回はちょっとしたお土産を買ってくることにしました。

「札幌農学校」という私のお気に入りのクッキーです。



過去に数多のクッキーを食べてきましたが、現時点での私のベストテイストクッキーはこの札幌農学校です。

口に入れたときに驚くのが、繊細なキメ細かさ。

そして、芳醇なバターとミルクの香り。

シンプルですが、とても味わい深い一品です。

もちろん、故郷の銘菓であることも多分に影響していると思いますが(笑)、とにかくにも私が一番好きなクッキーであるということです。

メーカーの方も、次のように述べています。

「繊細な食感を追求した結果、通常のクッキーよりやわらかくなめらかな口あたりに仕上げています。そのため割れやすいというデメリットもありますが、食感もかなりこだわっている部分です。」

「札幌農学校には、100%北海道産の小麦とバターを使っています。北海道といえば、農業や酪農がとても盛んな地域です。そんな北海道にふさわしい銘菓を作りたいと試行錯誤を重ね、ミルクをたっぷり使ったクッキーにた

どり着き、唯一無二の味が完成しました。」

(きのとや・広報担当)

ちなみにパッケージには、商品名の由来となっている札幌農学校（現 北海道大学の前身）の校舎が描かれています。

札幌農学校は“Boys be ambitious（少年よ大志を抱け）”の名言で有名なクラーク博士らを迎え、1876年に開校された学校。

当時の佇まいや風格をイメージしやすいよう、パッケージにイラストをのせているのだそうです。

旧五千円札紙幣に使われていた新渡戸稲造をはじめとする多くの優れた人物を輩出し、北海道開拓の歴史の1ページに刻まれている札幌農学校。

尚、観光名所の「札幌時計台」は、札幌農学校の旧演武場です（現在はコンサートホールとしても使われており、私も大学生のころにそこで演奏しました）。

さて、ここまで札幌農学校にまつわる情報をいくつか紹介してきましたが、どれを知っていて、どれが初耳だったでしょうか。

例えば、さっき紹介した「少年よ大志を抱け」のセリフ。

耳にしたことがある人も多いでしょう。

展望台に行って、美しい景色を見て、像を眺めて…と楽しむだけでもいいのですが、少しそこに「知」の要素を足し算してみると、一層その素晴らしさを味わうことができます。

例えば、「少年よ大志を抱け」の名セリフには続きがあるのを知っているでしょうか。

原文を引用します。

“Boys, be ambitious.
be ambitious not for money
or for selfish aggrandizement,
not for that evanescent thing
which men call fame.
be ambitious for that attainment of all
that a man ought to be.”

日本語に訳してみると、以下ようになります。

少年よ 大志を抱け

それは 金銭や私欲の為にではなく

名声という 空しいものの為であってもならない

人間として あるべき姿を求め 成し遂げる為に 大志を抱け

大きな志は、お金や名声の為に抱くのではなく、人間としてのあるべき姿を求め成し遂げるために抱くのだ、とクラーク博士は言っているんですね。

「人間としてあるべき姿とは、どんな姿か」

「それは、どうやって成し遂げられるのか」

そんなことを考えながら札幌農学校を食べてみるのも、面白いかもしれません。

☆↓読者ページはこちらから↓☆ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

